



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～感染性胃腸炎について～

毎年11月から2月にかけては感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、サポウイルス等々）が流行する季節です。保育園や学校で集団発生するのもこの季節です。主な症状は、嘔吐、下痢、腹痛、発熱、食欲不振などです。特に注意したいのは、脱水症状です。嘔気や嘔吐のために水分摂取が出来ず、水様下痢で体外へどんどん水分が出て行ってしまうと脱水症状を起こします。目がくぼんで、顔色が悪くなり、唇や皮膚がカサカサで張りがなくなり、意識もボーっとしてきます。このような症状の時には、点滴治療が必要です。夜間や休日であっても、このような症状の時は、やっている医療機関を聞いて（#7119 電話相談など）受診をしましょう。胃腸炎の原因はほとんどがウイルスであるため、抗生物質は効かず、対症療法を行います。嘔吐しているときは制吐剤をもらい、嘔気が治まってから少しずつ水分補給をしましょう。初めは5-10mlを5-10分毎に飲ませ、徐々に量を増やして間隔をあけていきましょう。吐いてすぐに飲ませると、また吐いてしまうため、嘔気が治まってから30分～1時間以上あけて飲ませるのがコツです。また、水分だけ与えても糖分や塩分を摂らないと、意識がボーっとしてきてしまいます。市販のアクアライトやOS-1のような塩分・糖分などが入ったものを補給するのもよいでしょう。もし自宅に在庫が無い時は、水1Lに対して砂糖40g、食塩3g、少量の果汁などを混ぜて作成することも可能です。水分補給が順調に出来、半日から1日経過したらお粥やうどんなど消化の良いものを少量ずつ始めてみましょう。固形物を与えて嘔吐するときは、また水分補給のみに戻しましょう。

文責： 清水マリ子

表：10月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎(アノ1)	70
2	溶連菌	52
3	手足口病	11
4	インフルエンザA	7
4	水ぼうそう	7
6	RSウイルス	5
6	ヘルパンギーナ	5
8	アノウイルス咽頭炎	2

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

～年末年始お休みのお知らせ～

12月28日～1月5日は閉室となります。1月6日曜日より平常開室となります。

